

スヌーカー体験から広がる地域の交流

特定非営利活動法人 日本スヌーカー連盟

わっしょいフェスタ 2026年10月4日（日）12:00～16:00
会場：イオンモール猪名川3階フードコート前 主催：NPO法人いながわりリンク
出展：特定非営利活動法人日本スヌーカー連盟

日本スヌーカー連盟は、地域イベント「わっしょいフェスタ」に出展し、スヌーカー体験を実施しました。イオンモール猪名川3階フードコート前で、子どもから大人まで28人に競技を体験していただきました。



フードコート前に設置した体験ブース

◆ 世代を問わず参加できる場

子どもだけでなく、大人にもショットを体験していただきました。初めての競技に触れる場を地域イベントの中に設けることで、普段スヌーカーに接する機会の少ない方にも関心を持っていただく機会となりました。



親子でキューを持ち、ショットに挑戦

◆ 初めてのショットを支える

体験には6フィートのスヌーカーテーブルを使用しました。スタッフが参加者のそばでキューの持ち方や構え方、ボールの撞き方を説明し、初めての方も実際にボールを狙って撞く体験ができるようサポートしました。

子どもたちはテーブルの周りに集まり、楽しそうに体験する一方、ショットの際には真剣な表情でボールを狙っていました。



テーブルを囲み、スタッフの説明を受ける子どもたち

◆ 28人がスヌーカーを体験

体験者は合計28人でした。内訳は子ども20人、大人8人で、子どもを中心に幅広い世代に参加していただきました。

区分	男性	女性	合計
子ども	8人	12人	20人
大人	2人	6人	8人
合計	10人	18人	28人

地域とつながるスヌーカー

◆ 真剣な表情が伝える体験の魅力

子どもたちがボールを狙う表情は、保護者にとっても印象に残るものとなりました。保護者からは、子どもが真剣に球を撞こうとする様子を見て、普段とは違う表情に驚いたという声が聞かれました。

楽しさと集中する時間が共に生まれたことは、今回の体験活動で印象的な場面の一つでした。



スタッフの説明を受けながらショットに挑戦

◆ 競技を知るきっかけに

大人の参加者からは、スヌーカーがどのようなスポーツなのか、ビリヤードとはどう違うのかという質問がありました。

ブースでは解説パネルも設置し、歴史や基本ルール、競技の魅力を体験と合わせて紹介しました。



会場の解説パネル



スタッフからキューの使い方を教わる参加者



スタッフと一緒にボールを狙う子どもたち

◆ 地域の身近なスポーツとして

今回の出展は、地域の皆さまにスヌーカーを知っていただき、身近なスポーツとして親しんでいただくことを目的に実施しました。

買い物や食事で訪れる場所に体験の場を設け、初めての方も参加できるようスタッフが支援しました。今後も地域の皆さまが気軽に競技に触れられる機会づくりに取り組んでまいります。

活動を振り返って

子ども20人、大人8人の参加があり、子どもの真剣な表情への保護者の驚きや、競技の特徴を尋ねる大人の声が聞かれました。実際にボールを撞く体験とスタッフの説明を組み合わせることが、競技を知るきっかけとなりました。

今後は、初めての方にも伝わる説明や、年齢に応じたサポートをさらに工夫し、楽しさを感じられる体験の場を整えていきます。

主催のNPO法人いながわリンク、イオンモール猪名川、ご参加・ご協力いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

団体概要

特定非営利活動法人
日本スヌーカー連盟

スヌーカーの普及と競技力の向上に取り組む団体です。体験活動を通じて競技の魅力を伝え、幅広い世代が親しめる機会づくりを進めています。